

安心していきいき暮らせる、みんなの六郷

六郷社協だより

編集・発行

六郷社会福祉協議会

あなたも……

六郷地区社会福祉協議会

丹野 慶治



六郷地区社会福祉協議会(六郷社協)には皆様の福祉活動に御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

六郷社協の結成は昭和43年ですので、53年にもなります。これもひとえに六郷の方々の郷土愛からなされるものと思っております。しかしながら、昨年からの新型コロナウイルス猛威による感染拡大の影響で、何もかも延期や中止に追いやられております。

立ち止まってみれば、今私達は歴史の踊り場に立たされているのではないかと思います。「踊り場」とは階段の上り下りする時、息を整える所です。もう一度人生の原点に立ち止まって、現代の生き方を見極めてみては如何でしょうか。

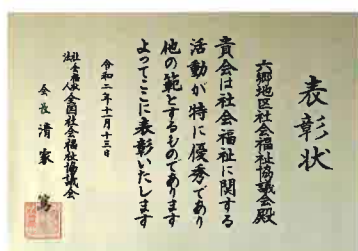
ある日ラジオで「年を重ねただけでは人は老いない、希望を失う時に初めて老いが来る。」と聞き、この言葉を胸に刻んで明るく有意義に過ごして行きたいと思っております。



これからも地域の皆様の暖かい御指導と御支援を宜しくお願い致します。

社会福祉協議会全国表彰受賞

昨年11月六郷地区社会福祉協議会は、東日本大震災被災地域コミュニティ強化のための「サロン活動への取り組み」を震災の年の9月より被災者を対象とした「絆サロン」を当時の仮設住宅集会所でスタートしました。月一回の割合で開催し、仮設住宅閉鎖後は六郷市民センターにて継続、延べ60回以上のサロンを行いました。それが評価され、全国社会福祉協議会会長表彰を受賞する事となりました。



表彰を受ける丹野会長

六郷地区慰霊祭

東日本大震災からちょうど10年の3月11日、元東六郷小跡地にある供養塔前で六郷地区慰霊祭が行われました。東禅院住職様の読経後、参列者全員で焼香、そして地震発生時刻の2時46分に合わせて皆で黙祷。大地震の犠牲になり亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しました。供養塔には多くの花が手向けられ、午前中から夕方まで約100人余りの方々がご参りを致しました。

2月と3月に続けて10年前の余震と思われる震度5以上の地震が発生、今後も同等の地震があると予想されております。改めて防災に対する意識を実感しました。



令和2年度 六郷地区社協 福祉委員研修会実施の報告について



コロナウィルス感染が拡大する中、収束する事を願いながら、六郷地区社会福祉協議会では、福祉委員の活動に役立てて頂ける様、福祉委員研修会を3月3日及び4日の2日間開催いたしました。

最初に、丹野会長の挨拶、来賓として、仙台市社会福祉協議会若林事務所亀谷所長、同庄司係長、六郷地域包括支援センター大谷所長及び沖野地域包括支援センター荒若所長よりご挨拶を頂きました。

今年度は、「地域における災害時の活動について」として、①令和元年、大水害を経験した大郷町の方の講話、②小地域福祉ネットワーク活動事例発表（館地区染谷会長・安藤福祉委員、三本塚地区小野会長）、③福祉ネットワーク活動について（市社協若林事務所佐々木様、杉山様）④小地域福祉委員の見守り活動について（六郷地区社協鈴木）、の四項目について研修いたしました。

①の大郷町からは、令和元年に大郷町での大水害にも関わらず、犠牲者は一人もいなかったという事を基に、その命を守った活動について、大郷町消防団の鈴木安則団長と中粕川地区の赤間正区長から、実体験や映像を通してお話を伺いました。この地区には、全戸に防災無線が付いており、日頃の情報共有と普段の顔の見える活動が功を奏したと言えるようです。

出席者数	3月3日	3月4日	計
町内会長	12	7	19
福祉委員	32	25	57
民生委員児童委員	12	12	24
六郷社協役員	6	6	12
計	62	50	112

両日アンケートを取らせて頂きましたが、大変良かった、良かった、が90%を占め、質問・意見の項目には、多くの記入がありました。例を挙げますと、自宅前に掲げる「避難しました」の緑の旗、「助けてー」の赤の旗は非常に参考になった。また、「水の勢いの恐ろしさを改めて分かった。」「住民の顔を殆ど知っていることも死亡者0の一因かもしれない。」等です。

その中で、避難後の対応を詳しく知りたかった（帰宅指示はしたか、ペット対策は?等）がありましたので、大郷町社協に確認したところ、

○帰宅指示は特に出さなかったが、翌日に水が引いて、自然的に皆さん自宅に帰られた。

○ペット対策についてはこれから検討していく。

との回答が寄せられました。

②の活動事例発表については、「顔の見える町内活動が大事と思った。」「二町内会を参考にしていきたい。」「コロナ禍でも頑張っている」など好評で、「これからも身近な活動報告を聞きたい」「年に何回か研修は必要」等の意見もありました。



③の福祉ネットワーク活動については、「地区社会福祉協議会の手引き」に基づきお話いただきました。

④の福祉委員の見守り活動については、「月一実施している」「町内会で検討していく」「町内会によって方法が違う」「町内の人数に対して福祉委員の人数が不足」「見守りの継続は大切」などのご意見や、「核家族化により協力が少なくなっている」などの悩みも寄せられました。

今回はコロナ禍での開催で、十分な対応ができなかった所もあり反省点も多い中、ご出席者のご理解とご協力により、スムーズに運ぶ事ができたのではないかと思います。ここに深く感謝申し上げます。

六郷地区社協としては、これからも仙台市社会福祉協議会、町内会など、地域の皆さまとの連携を密にするよう努力しながら、活動を進めていきたいと考えております。

今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

六郷地区町内会会長

町内会	会長名	町内会	会長名	町内会	会長名
沖野	やよい 高橋 信一	沖野	上飯田第一 門間 昭次郎	六郷	今 泉 石 黒 康 二
	沢 田 山 田 一 雄		沖野公団 佐々木 英雄		二 木 阿 部 東 悦
	中河原 菊 地 徳 吉		上飯田西 高 橋 浩		三 本 塚 小 野 吉 信
	中 柵 庄 子 克 典		上飯田中央 早 坂 憲 也		種 次 大 友 重 義
	三ッ橋 宇和野 禎寿		上飯田南 太 田 善 雄		井 土 三 浦 紘 一
	横堀東 結 城 正 芳		上飯田大町 佐々木 好悦		久保田東 東海林 義一
	横堀西 本 田 昭 夫		下飯田 鈴 木 壽 雄		六郷自治会 白 井 由 美 子
	館 染 谷 恵 司		日 辺 針 生 納		

六郷地区民生委員児童委員

氏 名	受持町内会	氏 名	受持町内会	氏 名	受持町内会
庄 子 フミ子	二木井土三本塚	岡 田 佐千子	今泉	庄 子 克 典	沖野中柵
遠 藤 はつい	今泉	染 谷 恵 司	沖野館	佐 藤 誠	上飯田南
立 花 正 祐	今泉	三 塚 妙 子	沖野沢田	阿 部 あや子	種次
湯 目 實	沖野館	濱 田 美和子	沖野横堀西	勝 又 猛 良	上飯田西
馬 目 敦 子	今泉	文 屋 俊 英	沖野中柵	齋 藤 宏 子	沖野横堀西
高橋 洋 子	上飯田中央	遠 藤 千枝子	下飯田	西 條 義 男	日 辺
尾 形 あさ子	沖野三ッ橋	本 多 やゑ子	上飯田南	青 沼 淳 子	上飯田第一
菅 原 玲 子	上飯田大町	松 崎 幸 子	久保田東	鈴 木 三 枝	主任児童委員
渡 邊 美智子	上飯田第一	末 永 久美子	沖野沢田		
武 藤 智 子	沖野中河原	高 橋 きぬ子	沖野やよい		

六郷地区社会福祉協議会福祉委員

町内会	氏 名	町内会	氏 名	町内会	氏 名	町内会	氏 名
沖野	やよい 高橋 清 子	沖野	横堀西 佐々木 きよ子	六郷	上飯田西 清 水 美智子	六郷	下飯田 目 黒 裕 宗
	沢 田 庄 子 好 江		藤 原 利 明		小林 洋 之		伊 東 美代子
	中河原 丹 野 純 子		齋 藤 るり子		阿 部 広 美		船 山 かつ子
	三ッ橋 中 野 京 子		安 部 せ い		相 沢 典 子		平 塚 邦 子
	横堀東 三 浦 久美子		丹 野 ナミヒ		相 澤 直 美		佐 藤 春 子
	高橋 とも子		丹 野 和 恵		佐 藤 佐智子		山 田 ともえ
	木 皿 妙 子		會 澤 恵 子		永久保 優 子		鷺 沼 まさみ
	宇和野 悦 子		安 藤 ひろみ		川 口 忠 義		菅 野 せつ子
	三ッ橋 大 泉 きみ子		水 戸 敏 夫		太 田 善 雄		鹿 野 良 子
	林 ヒサ子		鈴 木 仁 子		高 橋 今朝見		相 澤 せつ子
	木 皿 ふさ子		菅 井 かよ子		高 橋 光 明		大 内 良 子
	横堀東 角 張 有 孝		太 田 平 雄		宍 戸 照 郎		三本塚 白 河 末 子
	横堀西 濱 田 美和子		佐々木 一 洋		五百川 喜久子		種 次 阿 部 幸 政
	庄 司 やよえ		佐 藤 守		篠 原 宣 子		久保田東 橘 レイ子
	平 岡 やえ子		川 嶋 順 子		宮 内 フミ子		齋 かつ子
	菅 野 洋 子		中 嶋 賢 三		高 橋 秋 男		
	遠 藤 光 江		阿 部 正 和		庄 子 武 志		
	渡 辺 清 子		安 齊 正 幸		下飯田 太 田 美恵子		

《敬称略》

令和3年度 六郷地区社会福祉協議会役員

会 長	丹野 慶治	席 務	尾形 あさ子
副会長	石 黒 康 二	会 計	菅 原 玲 子
副会長	庄 子 フミ子	推進委員	三 塚 妙 子

よろしく
お願いします。

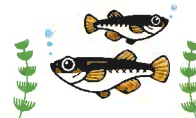
社協だより 編集委員

- ・丹野 慶治
- ・庄 子 フミ子
- ・三 塚 妙 子
- ・湯 目 實
- ・高 橋 洋 子

祝！東六郷コミュニティ広場完成！

この度、平成29年3月に閉校した東六郷小学校が「東六郷コミュニティ広場」として新しく生まれ変わりました。3月27日に広場のオープンを記念し記念式典と記念イベントが開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、全て中止となり、利用開始も大幅に遅れました。広場内には大駐車場やグラウンドがあり、津波から一本だけ残った桜が接ぎ木し育てられ2月に定植されて、この春には小さいながら花を咲かせました。

また絶滅をまぬがれた井土のめだかの池も作られ、六郷地域住民の憩いの場となる事まちがいないと思います。



「ひまわり会」とともに

令和2年度の「全国福祉大会」に於いて、「ひまわり会」が「厚生労働大臣表彰」の栄誉を賜りました。これはひとえにこれまで長い間当会で活動して下さった方々、並びにいつも当会の活動への深いご理解とご支援をいただいております方々のご尽力のお陰と深く感謝と御礼を申し上げます。

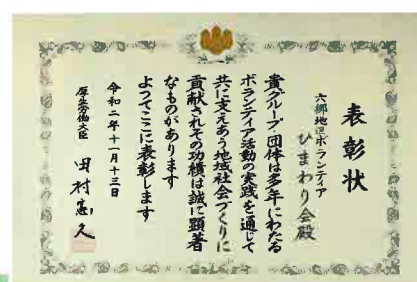
「ひまわり会」の正式名称は「六郷地区ボランティアひまわり会」で、42年前に「ひまわり」のように何時も太陽を向いて、明るくボランティア活動を」という気持ちを込めて命名されたのでした。設立当時はまだ介護保険等がありませんでしたので、高齢者のお風呂サービスの時などは、自転車にビニール製のプールを積んで訪問したということでした。そして、その際には手作りのお惣菜をお持ちしたりして、とても喜ばれたということです。

現在は介護サービスが充実していますので、高齢者、並びに要援護者世帯の見守り活動を中心に、手作り弁当を月に一度お配りをしています。ただ、食中毒の懸念のある夏期と活動の難しい厳冬期は乳酸飲料等を配布しておりますが、それでも地域の高齢者の方々には喜んでいただき、笑顔で迎えていただいております。それは、私たちにとっても大変うれしいことです。

私たちはこれからも「ひまわり」のように明るく、お互いに顔が見えて安心できる、そんな住みよい地域になる一助として活動していきたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「ひまわり会」では会員を随時、募集しております。
下記にご連絡ください。

ひまわり会代表 丹野慶治 もしくは 副代表 高橋洋子



編集後記

今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、各種行事が中止になりました。

そんな中、六郷地区社会福祉協議会と「ひまわり会」が全国表彰受賞の栄誉に輝きましたので、掲載いたしました。

つながる ひろがる

支え合う地域づくり

社協会員加入のお願い

特別賛助会員1,000円以上

六郷地区社会福祉協議会

連絡先

地元の
社会福祉の協力金
として加入をお願い
いたします。